

環境ユニバーシティ

岐阜大学の取り組み

2025



環境ユニバーシティへようこそ

岐阜大学は、国立大学法人東海国立大学機構として、2020年4月に名古屋大学と法人統合し、新たな時代の先駆けとして、教育研究等活動に取り組んでいます。

「Make New Standards for The Public ― 知とイノベーションのcommonsとして、常に国立大学の新たな形を追求し、地域と人類社会の進歩に貢献し続けることを、存在意義とする」との東海国立大学機構のミッションを踏まえつつ、岐阜大学は地域に軸足を置き、地域の中核となる大学を目指して「学び、究め、貢献する」人材を輩出するとともに、自治体や企業と連携し、地域の課題解決に貢献するイノベーションを起こしていくことを使命としています。

2015年にパリ協定が採択され、日本は「2050年カーボンニュートラル達成」を目標とし、地球規模の課題である気候変動問題の解決に向けての取り組みを進めています。

脱炭素社会の実現に向けて、東海国立大学機構では、「2030年に温室効果ガス51%（2013年比）以上削減し、2050年までのできるだけ早い時期にカーボンニュートラル実現」の目標を掲げて、「カーボンニュートラル推進室」のもと、社会と連携してカーボンニュートラル達成を目指し取り組んでいます。岐阜大学キャンパスでも「省エネアクト for ゼロカーボンキャンパス」のスローガンのもとに、重点取組事項を定め、省エネ・節電行動を推進しました。

本学は、2009年に「環境ユニバーシティ」を宣言し、全学で環境マネジメントシステムISO14001の認証を取得しています。その運用に不可欠となる内部環境監査は、教職員だけでなく、学生の参画による協働で行われており、岐阜大学全体の環境意識が醸成されていることを自負しています。また、2024年4月には「環境社会共生体研究センター」を開設しました。本センターは、流域圏科学研究センター、地域環境変動適応研究センター、脱炭素・環境エネルギー研究連携支援センターの三つの組織を融合・発展的に改組し、新たに設置したものです。これまで培ってきた環境研究分野の研究をさらに発展させ、地球温暖化の緩和・気候変動への適応、生態系サービスの持続可能な利活用など、環境課題解決に必要な専門知・科学知を提供し、ステークホルダーと共に解決策を共創していくことを目指しています。

みなさん一人ひとりが地球に目を向けて、カーボンニュートラル、環境問題について一緒になって考えてほしいと思います。岐阜大学は環境に関する教育・研究のさらなる充実を図り環境課題の解決に貢献していきます。



岐阜大学学長
最高環境責任者 吉田和弘



環境ユニバーシティ宣言をしています

本学は、岐阜大学環境方針に基づき、環境に配慮した特色ある諸活動を継続的に展開し、地域社会に貢献し、地域とともにありつづける大学として2009年11月27日に「環境ユニバーシティ宣言」をしました。

岐阜大学環境方針

岐阜大学は、本学が掲げる理念を達成するとともに、「環境ユニバーシティ」としての取組みを継続発展させ、環境に配慮した大学環境を創り出すとともに、環境を担う優れた人材育成に努めます。

基本方針

1. 岐阜大学の特長を生かした環境教育・研究を推進します。
2. 教育・研究活動の環境側面を常に認識し、環境影響を評価し、汚染の予防に努めます。
3. 省エネルギー、省資源を推進し環境負荷の一層の軽減に努めます。
4. 教育・研究に関わる順守義務の適合に努めます。
5. 環境パフォーマンスを向上させるため、環境マネジメントシステムの継続的な改善を図ります。
6. 教育・研究を通して、気候変動の緩和・適応及び生物多様性の保護に寄与します。
7. 毎年度活動目標を設定し、達成していきます。

岐阜大学は、この環境方針を学内外に周知し、広く公開します。

2023年4月1日

岐阜大学長
最高環境責任者

吉田 和弘



東海国立大学機構「環境報告書」の発行

岐阜大学、名古屋大学の情報を掲載した、東海国立大学機構「環境報告書2024」を発行しました。当報告書では、東海国立大学機構の防災・減災に向けた取組、カーボンニュートラル達成に向けた取組、岐阜大学生・名古屋大学生による研究に関するインタビューなどの企画を盛り込んでいます。

岐阜大学HPでも公開していますので、是非ご覧ください。

URL:[https://www1.gifu-u.ac.jp/](https://www1.gifu-u.ac.jp/~kankyo/houkokusyo/houkoku_2024.pdf)

[~kankyo/houkokusyo/houkoku_2024.pdf](https://www1.gifu-u.ac.jp/~kankyo/houkokusyo/houkoku_2024.pdf)



環境ユニバーシティ

～環境への取り組みのあゆみ～



2003年	3月	地域科学部でISO14001認証取得
2006年	3月	環境対策室を設置
	9月	岐阜大学環境方針を制定
	9月	初の「環境報告書」発行
2009年	7月	流域水環境リーダー育成プログラム開講
	11月	環境ユニバーシティ宣言
	11月	グリーンキャンパス開始
	12月	ISO14001認証範囲を大学本部、図書館へ拡大
2010年	11月	「環境ユニバーシティフォーラム」開始
2011年	10月	学生によるISO14001内部環境監査の開始
	12月	ISO14001認証範囲を教育学部、附属小中学校へ拡大
2012年	4月	十六銀行と「環境保全における連携に関する覚書」締結
	7月	十六銀行連携「省エネ啓発ポスター」募集、表彰を開始
	10月	「岐阜市環境活動顕彰」受賞
	10月	十六銀行と連携した環境対策活動が「節電・発電大賞」受賞
	12月	ISO14001認証範囲を医学系研究科・医学部、応用生物科学部へ拡大
2013年	4月	全学共通教育「環境マネジメントと環境経営」開講
	12月	ISO14001認証範囲に工学部が加わり、全学（附属病院を除く）で認証取得
2014年	6月	岐阜大学ブランドのミネラルウォーター「のみやすい」発売開始
2015年	3月	FC岐阜と「環境保全における連携に関する覚書」締結
	3月	「岐阜大学キャンパスマスタープラン2015」策定
	3月	附属小中学校が「エコスクールコンテスト（岐阜市）」受賞
	4月	次世代エネルギー研究センター設置
	4月	地域減災研究センター設置
	6月	FC岐阜連携「岐阜う米プロジェクト」開始
	7月	十六銀行連携「エコがつながる種まきプロジェクト」開始
2016年	4月	医学部附属病院においてESCO事業運用開始
	11月	ISO14001内部環境監査員養成研修修了証書授与開始
2017年	4月	「二酸化炭素排出量を2030年度において、2013年度比40%以上削減」目標設定
	8月	集中講義「環境、CSR（企業の社会的責任）とマネジメント」開講
	8月	他大学との環境コミュニケーション「環境報告書の意見交換会」開始
2018年	7月	地方創生エネルギーシステム研究センター設置
	11月	「eco-MASTER GRAND PRIX 2018 学生部門」入賞
	11月	「eco検定アワード2018」エコユニット部門「奨励賞」受賞
	11月	「サステナブルキャンパス賞2018 奨励賞」受賞
2019年	2月	サステナブルキャンパス評価システム（ASSC）におけるゴールド認定
	7月	サークル「ESDコリア」に「岐阜市制」30周年特別感謝状
	11月	「eco検定アワード2019」エコユニット部門「優秀賞」受賞
2020年	1月	「環境ユニバーシティ宣言」10周年の記念植樹
	2月	第23回環境コミュニケーション大賞「環境配慮促進法特定事業者賞」受賞
	3月	第29回地球環境大賞「文部科学大臣賞」受賞
	4月	岐阜県気候変動適応センター設置
	11月	「eco検定アワード2020」エコユニット部門「奨励賞」受賞
	11月	環境サークル「G-amet」が「サステナブルキャンパス賞2020 学生活動部門」受賞
2021年	2月	第24回環境コミュニケーション大賞「環境配慮促進法特定事業者賞」受賞
	4月	次世代地域リーダー育成プログラムに環境リーダーコース新設
	11月	「eco検定アワード2021」エコユニット部門「大賞」受賞
	11月	脱炭素・環境エネルギー研究連携支援センター設置
2022年	1月	環境サークル「G-amet」がASCN2021年次大会「金賞」受賞
	3月	サステナブルキャンパス評価システム（ASSC）におけるプラチナ認定
	4月	「二酸化炭素排出量を2030年度において、2013年度比51%以上削減」目標設定
	12月	「サステナブルキャンパス賞2022 大学運営・地域連携部門」受賞
2023年	4月	第31回地球環境大賞「文部科学大臣賞」受賞
	11月	環境サークル「G-amet」がサステナブルキャンパス賞2023「学生活動部門 奨励賞」、「特別賞」受賞



2012.10 岐阜市環境活動顕彰受賞



2013.12 ISO14001登録証授与式



2015.06 岐阜う米プロジェクト



2016.11 ISO修了証書授与開始



2017.08 環境コミュニケーション



2020.01 「環境ユニバーシティ宣言」記念植樹



2021.11 eco検定アワード表彰式



2022.12 「サステナブルキャンパス賞2022 大学運営・地域連携部門」受賞



2023.4 第31回地球環境大賞「文部科学大臣賞」受賞



環境に関する教育



次世代地域リーダー育成プログラム「環境リーダーコース」

地域協学センターが進める次世代地域リーダー育成プログラム「環境リーダーコース」では、岐阜の自然や環境学などを学ぶほか、企業や自治体と連携して地域社会における環境問題に対する取り組みを実践します。

様々な分野からみた環境問題を学ぶことを通して、次世代地域リーダーに必要な素養や能力を養うとともに、将来においても、自ら主体的に環境問題に取り組むことのできる人材を育成します。

環境リーダーコースにおいて選択必修科目となっている科目「地域と環境SDGs」を紹介します。

次世代地域リーダー育成プログラムの履修プロセス



全学共通教育「地域と環境SDGs」(前学期・後学期)

講義では地球が抱えている環境問題の現状や、環境マネジメントシステムの枠組み、環境負荷の分析評価から効果的な環境経営の手法を学びます。市役所や企業の方をゲストスピーカーとしてお招きし、自治体や企業が取り組んでいる環境対策及びSDGsへの取り組みについて講義いただいたり、環境に配慮した設備の見学も実施しています。



岐阜市メガソーラー発電施設の見学



全学共通教育「マネージメント論(マネジメントシステムと監査)」(集中講義)

講義では、本学が認証取得している環境マネジメントシステムISO14001を一例にマネジメントシステムと監査についてISO14001審査員の資格を有した教員およびゲストスピーカーによる講義と、実際に内部環境監査を行うことにより理解を深めます。本講義では、環境マネジメントシステムを一例に講義を行います。監査手法は他のマネジメントシステムでも役に立ちます。また、学長より、内部環境監査員養成研修修了証書が授与されます。



初年次セミナーにて環境講義を実施

環境マインドを持つ人材を育成するため、新入生を対象とした初年次セミナーにおいて、環境配慮について学修する機会を設けることとし、環境講義を実施しています。講義では、環境問題を理解し、企業や大学に求められる社会的責任の知識を身につけるため、地球規模の「気候変動」をもたらす、自然環境や人の暮らしに大きな被害をもたらすと考えられている地球温暖化の仕組みの解説や本学の環境への取り組みを紹介しています。



環境マネジメントの取り組み



全学でISO14001：2015を認証取得しています！（附属病院を除く）



2003年に地域科学部で環境マネジメントシステムの国際規格ISO14001を認証取得し、順次認証範囲を拡大し、2013年に附属病院を除く全学で認証を取得しています。2016年にはISO14001：2015の認証を更新し、規格に基づいた運用を行っています。



大学の活動におけるマテリアルバランス（2023年度）

INPUT

総エネルギー投入量	439,937 GJ ↑
電気	34,386 千kWh ↓
ガス	2,363 千m ³ ↑
A重油	28 kL →
灯油	4 kL ↓
水資源投入量	438,392 m ³ ↓
紙類	132 t ↓

本学における
教育・研究活動

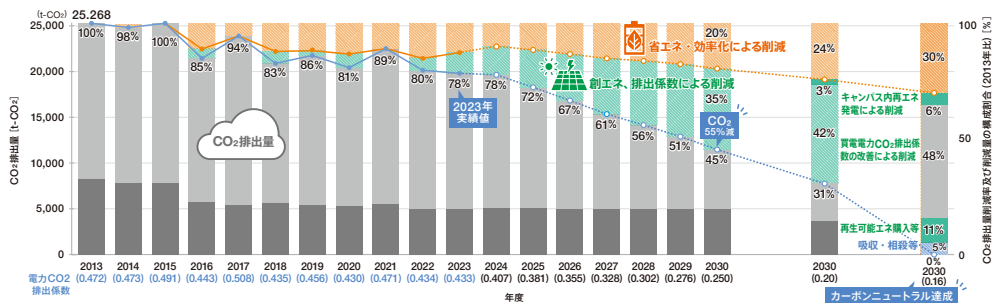
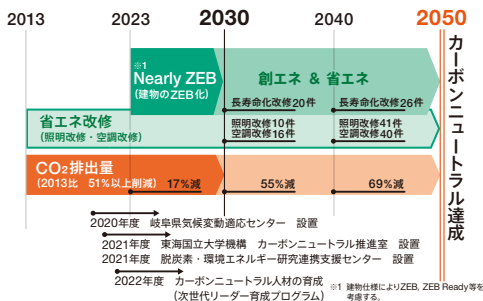
温室効果ガス排出量	20,718 t-CO ₂ ↑
下水道排水量	332,280 m ³ ↓
事業系一般廃棄物 (内 リサイクル量)	944 t ↑ 303 t ↓
産業廃棄物	564 t ↓
実験廃液類排出量	47.9 t ↑

OUTPUT

↑ ↓ は前年度との比較です。

岐阜大学のエネルギーマネジメントの取り組み

キャンパスのエネルギー消費起源のCO₂排出量を対象にゼロ・カーボンキャンパスの実現を目指すため、長寿命化改修（大規模改修）時における建物ZEB化などの「創エネ&省エネ」と中規模改修時における照明LED化・高効率空調設備更新等の「省エネ改修」を進めています。カーボンニュートラル達成に向けた計画をカーボンニュートラルロードマップとして図に示しています。



岐阜大学カーボンニュートラルロードマップ2024

環境配慮活動



学生による内部環境監査



ISO14001について研修を受けた学生たちが、職員とともに、本学の環境マネジメントシステムの取り組みについて、学生の視点から監査を行います。

2024年11月、学長より内部環境監査員養成研修修了証書が15名に授与されました。



環境報告書学生編集委員会



「環境報告書」の作成において、学生編集委員会を立ち上げ、学生による誌面づくりを行っています。環境に関する研究を行っている研究室でのインタビュー記事やサークル紹介記事を執筆し、他大学と互いの「環境報告書」についての意見交換会を行っています。



eco検定勉強会



「eco検定（環境社会検定試験）」とは、東京商工会議所が主催する、環境問題について幅広い基礎知識の習得を目指す検定です。環境問題に興味のある学生や教職員が集まり、勉強会を開催しています。2024年度は17名が合格し、優秀な成績をおさめました。



クリーンキャンパス



キャンパスの環境美化の取り組みの一環として、毎年2回（5月・11月）、全学で実施しています。また、キャンパス周辺のごみを拾う「大学周辺ゴミ0（ゼロ）活動」や特定外来生物「オオフサモ」駆除も行っています。





チェックしてみよう!

チェック内容		チェック
エアコンの設定温度は控えめにしよう (室温の目安: 夏28℃、冬19℃)		
照明の使用を必要最小限にしよう		
部屋を最後に離れるときは、エアコン・ 照明をOFFにしよう		
ごみは分別して、ごみ箱に捨てよう		
リ・リパック※の回収に協力しよう ※生協で扱っているリサイクル可能なお弁当容器		
実験に使用した薬品は「実験廃液等の分別 貯留ポスター」に従って、適切に廃棄しよう		

持続可能な開発目標

「SDGs (Sustainable Development Goals)」とは、
2015年9月の国連サミットで採択された国際社会共通の目標です。
本学では目標の達成に向け積極的に取り組んでいます。

※関連する取り組みにアイコンを記載しています。



ISO14001の活動と一緒にしてくれる学生を募集しています。

環境活動に興味のある人は、右のQRコードまたは
下記のお問い合わせ先にご連絡ください。



お問合せ先

岐阜大学環境対策室 (施設統括部環境安全課)

〒501-1193 岐阜市柳戸1番1 TEL: 058-293-2118 MAIL: iso_ems@t.gifu-u.ac.jp
<https://www1.gifu-u.ac.jp/~kankyo/>